

製品タイプ

スリープバスター
(シンプルタイプ)
型番：0068F0000

ドライブリズムマスター
(詳細警告・覚醒誘導タイプ)
型番：0068G0000

ヒュータコ
(専用解析ソフト)
型番：0069B0000

※シンプルタイプ、詳細警告・覚醒誘導タイプへの変更は、アプリの書換え（有償）で対応可能です。

基本セット

コントローラー

センサーパッド

ヒューズ用電源

※それぞれ単品でもお求めいただけます。

製品仕様

コントローラー仕様

項目	内容
使用電源	DC5V
消費電力	2.2W
動作温度範囲	-20℃～+70℃
外形寸法	幅91×高さ119×厚み24mm
質量	155g
データ出力	USB mini-Bコネクタ (出力には別売の専用ソフトが必要です)

ヒューズ用電源(DCアダプター)仕様

項目	内容
使用電源	DC12/24V
消費電力	DC5V 0.5A
動作温度範囲	-30℃～+75℃
外形寸法	幅62.5×高さ25×厚み40mm
質量	115g (ケーブルの長さにより変動します)

センサーパッド仕様

項目	内容
サイズ	幅：375mm/長さ：685mm
材質	主材：ポリエステル 縁材：ポリプロピレン
動作温度範囲	-20～+60℃
保存温度範囲	-40～+85℃

専用解析ソフト ヒュータコ システム要件

項目	内容
対応OS	Windows 8.1、8、7 SP1以降、Vista SP2以降
CPU	2GHz以上 (推奨)
メモリ	2GB (推奨)
ディスプレイ	1440×900以上 (推奨)
HDD空き容量	15GB以上 (必須)

オプション

シガー電源
品番：RD-1JD1-520

100V電源
品番：UN110-0520

コントローラーカバー
品番：RD-1JD1-165

取付具 (据付具)
品番：TY82T17
(VP-82、VP-T17)



安全に関するご注意

※状態の特定は運転中のヒューマンエラーの発生の可能性を示唆するものであり、体調全体を示しているものではありません。
※ユニークなアニメーションや音声でドライバーに刺激を与えますが、体調の回復や覚醒の効果が得られるとは限りません。

JUKI JUKI 株式会社 事業開発部

e-mail : sleepbuster@juki.co.jp

HP : http://www.juki.co.jp/

東京 〒206-8551 東京都多摩市鶴牧2-11-1

TEL : 042-357-2284 FAX : 042-357-2325

大阪 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-500

大阪駅前第一ビル 5F

TEL : 06-4796-6628 FAX : 06-4796-6529

開発・製造 : 株式会社デルタツール

1501-E01

※スリープバスター、ヒュータコは、株式会社デルタツール登録商標です。
※無断複写・複製・転載を禁じます。仕様は予告なく変更することがあります。

運転中の体調に起因する事故リスク低減装置
疲労度合、入眠予兆、集中力・判断力低下状態 警告機能付き

スリープバスター

0068F0000

国交省補助制度対象機種



安全な運転ができなくなる前に警告
運転の交代、休憩をおすすめ。

Sleep Buster®

センサーが眠気の進行や集中力の低下など
体調の変化をモニタリング。
安全な運行、交通事故の防止対策に。



シートに座るだけで体調を推定。
事故を起こしそうな状態を事前に検知して
ドライバーに警告する「体調ナビ」。



非拘束センサー

脈動による音や振動を検知します。
センサーから得られる生体信号は、独自の特許技術により、
医療目的の計測機器と相関性の高い測定結果を示します。

ただ座るだけ。
車の運転を妨げません。

測定前の面倒な調整は必要ありません。
ダウンジャケットのような厚着をしていても測定可能です。
測定の精度は、学会で認められた高い信頼性があります。

多機能コントローラー

多彩な画面と音声で体調の変化をお知らせします。
センサーから検知した心臓・大動脈の活動の周期情報から
疲労度、集中度、眠気を、わかりやすい画面や音声でお知らせします。



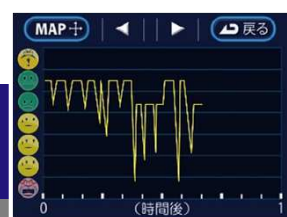
キャラクターモード



体調MAP



履歴グラフ



多彩な画面 >>

こんな
事業者様に！

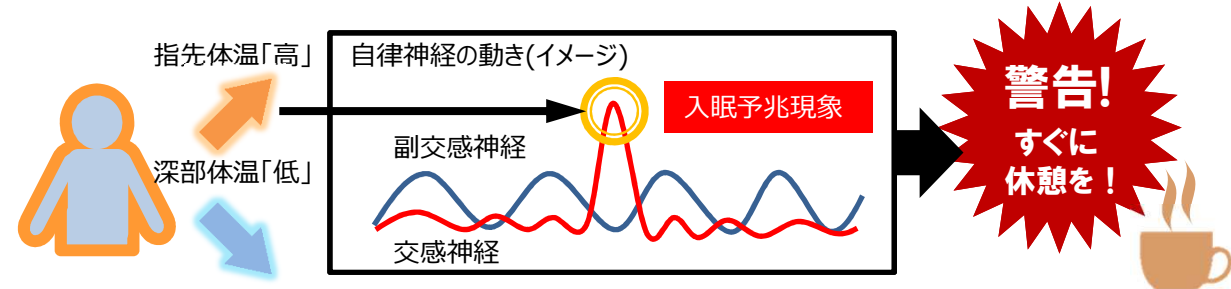
安全な運行を最重視し、
ドライバーの無事故や無違反を徹底したい事業者様。

「入眠予兆現象」は自覚がありません。
だから、眠気に太刀打ちできなくなる前に警告します。

「入眠予兆現象」とは、これから本格的に眠りに入ろうとしている状態です。眠りに入るとき、人間の体は指先の体温が高くなり、体の深部の体温は低くなります。このとき、副交感神経が優位の状態で交換神経を強く働かせます。本格的に眠りに入る10～15分前に入眠予兆現象が生じます。しかし、ドライバーには自覚がありません。

スリーパスターは、**入眠予兆現象を検知して警告**します（特許を取得）。したがって、警告が出たときにすぐに休憩、あるいは運転を交代することで、本格的に居眠りに入る前に、**運転を停止**させることができます。

なお、入眠予兆現象を生じて、体力があれば必ず眠るとは限りません。一方、体力がなければ、より早い時間に眠りに入る場合もあります。当機で、**体が眠ろうとしている体勢に入っていることを知る**ことが大切なのです。



眠気だけでなく、「一瞬の気の緩み」も見逃しません。
過去に事故を起こした状態と同じ状態を警告します。

スリーパスターを搭載していたにもかかわらず、残念ながら事故を発生させてしまった例があります。その原因は眠気とは無関係の「一瞬の気の緩み」でした。そこで、スリーパスターでは、座席のセンサーから検知した生体信号を解析し、過去に事故が起きた状態、事故を未然に回避した状態と97.5%以上一致したときにも警告するようにしました。一瞬、気が緩んだ状態を特定し、過去と同じ過ちを繰り返さないように運行の安全性を高めます。

怖い顔で「喝ッ！」を入れるのは
ドライバーが事故を起こさないための
「優しさ」です。



Sleep Buster®

体調ナビ